

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	東京都立北療育医療センター城南分園（児童発達支援センター）		
○保護者評価実施期間	令和7年 10月 1日		～ 令和7年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	令和7年 10月 1日		～ 令和7年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 28
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種がそれぞれの専門性を活かした支援を行うとともに、口腔機能に合わせた形態の給食提供や医療的ケア児への対応ができる。 また、家庭での対応について、保護者に具体例を見てもらいながらアドバイスをしている。	多職種の良さを活かすために、児童発達支援管理責任者が中心となって会議を開催し、情報共有や検討を行ったうえで個別支援計画を作成している。 毎登園日に医師と看護師が健康状態を確認し、ご家庭での医療ケアの方法について助言を行っている。 管理栄養士を中心に施設内で調理した給食を温冷ワゴンで提供している。また、疾病やケアに関する職員研修を実施している。	きょうだい児支援の職員勉強会を実施する。 また、多様化する利用児の状況にも対応できるよう他施設の見学などを行い、プログラムの工夫に取り入れている。
2	大型遊具や屋内プールなどの設備がそろっており、天候に関係なく体を動かして遊ぶことができる。	園庭では安全に楽しく体を動かせる遊具（ブランコ、滑り台、砂場、人工芝）がある。保育園交流でも活用した。 プールは通年（5月～3月）、金曜日に実施している。陸上ではできない水中ならではの動きによりリラクゼーションや自発的な運動等を促している。 今年度から2歳児と医療的ケア児（気管切開）にもプールを開始した。	プールは水泳療法講師を継続して招き、プログラムの充実を図る。
3	保護者勉強会による家族支援を行っている。	保護者の参加しやすい時間帯に設定し、看護師、栄養士・調理師、医師等が講師となり開催している。 保護者へのアンケートを元にして企画している。	引き続き保護者ニーズに合わせた内容の勉強会を開催していく。 資料をホームページに掲載するなど、参加できない保護者への対応方法を検討する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	きょうだい児支援への取り組みが不十分である。	サービス提供時間と、きょうだい児が幼稚園、学校に通っている時間と重なるため、交流の機会を設定しにくい。	家族参観日や運動会を、きょうだい児も参加しやすいよう学校等の夏休みや土曜日に設定した。 きょうだい児に関する職員勉強会を実施した。
2	登園予定の登録にLoGoフォームを導入し、アクセス用QRコードをホームページへ掲載した。併せて通園だよりもホームページに掲載を始めたが、まだ保護者のニーズに合ったDX化が進んでいない。	現在紙ベースでお渡ししているおたより類がスマホで受け取れる方法、行事や活動の様子を写真でお知らせする方法など、保護者からの要望がある。個人情報の管理方法やセキュリティ面の課題がある。	DX研修の受講、他事業所での取り組みなどの情報収集を行う。
3	多様化する利用児の状況に応じたプログラムの改善が必要	従来の肢体不自由児向けのプログラムが中心となっている。	他事業所の見学や研修への参加等を行い、発達段階に合わせたプログラムを構築していく。